

まなびい あいち



TAKE FREE

ご自由にお持ちください

愛知県生涯学習推進センター情報誌

【年2回発行】

No. **83**

2025.10-11



生涯学習マスコット“マナビィ”

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、バックナンバーもご覧いただけます。

学びネットあいち



特集

戦争の記憶を継承する ～平和の大切さを考えるために～



陸軍歩兵第六聯隊兵舎
画像提供/博物館 明治村



戦争の体験を語る・伝える
＜ピースあいち＞



愛知・名古屋戦争に関する資料館



半田赤レンガ建物
画像提供/半田赤レンガ建物



戦争と平和の資料館ピースあいち



地域づくり「桜町連区防災推進協議会」



地域づくり「NPO法人まちづくりかりや」



情報提供機関紹介「東海市創造の杜交流館」

- 目次 -

- **特集** 1
戦争の記憶を継承する～平和の大切さを考えるために～
- **地域づくり** 3
桜町連区防災推進協議会(豊川市)
特定非営利活動法人まちづくりかりや(刈谷市)
- **あいち歴建さんぽ** 5
旧足助町立御内小学校校舎、同大多賀小学校校舎(日東醸造足助仕込蔵)
足助中馬館(旧稲橋銀行足助支店社屋)

- **愛知の城を掘り下げる** 6
瀬戸市 桑下城跡と桑下東窯跡
- **情報提供機関紹介** 7
東海市創造の杜交流館
- **講座・イベント情報** 8
- **おすすめ情報** 裏表紙
チャレンジザ サバイバル in さがらの森、冬の DAY キャンプ! in 春日
井市少年自然の家、中・高校生ビブリオバトル愛知県大会 2025

日本は今年、戦後80年を迎えました。これからも戦争のない、平和な日常を過ごすことができるよう、戦争の記憶を次の世代へと伝える催しが各地で行われています。世界へと目を向ければ、戦闘が行われている地域もあり、平和な日常の大切さを改めて考えさせられます。戦争を直接体験された方々が少なくなる中、戦争

争の悲惨さや平和の尊さを伝えるためにどのように継承していけばよいのでしょうか。今号では「戦争の記憶の継承」について取り上げ、戦争遺跡、体験の語り部の思い、資料館の取り組みをお伝えします。



あいちの戦争遺跡を訪ねる

戦争遺跡は、軍事施設や戦場、空襲被災地など、現在も地表や地下に痕跡を残す、軍隊や戦争の記憶を継承するものです。開発や風化による撤去、消滅といった課題を抱えますが、県内には多数の戦争遺跡が残されています。

今回はその中から4つの戦争遺跡について、名古屋市見晴台考古資料館学芸員の伊藤厚史氏にご寄稿いただきました。

れんたい えいじゅ ◎歩兵第六聯隊兵舎・名古屋衛戍病院

歩兵第六聯隊兵舎と名古屋衛戍病院の管理棟・病棟は、犬山市字内山1番地にある博物館明治村にあります。歩兵第六聯隊兵舎は、名古屋市中区二の丸にありましたが、昭和40年（1965）に移築されました。名古屋衛戍病院は、中区三の丸にあり、戦後は国立名古屋病院になりましたが、昭和38年（1963）に解体、翌年移築されました。

明治建築として学術的に高く評価され、兵舎は平成16年（2004）に国登録有形文化財、病院建物2棟は昭和41年（1966）に愛知県有形文化財になっています。

◎陸軍高射砲隊・笠寺陣地

笠寺陣地は、名古屋市南区見晴町に設置されていた高射砲陣地です。現在は、都市公園「笠寺公園」となっています。名古屋の高射砲隊は、昭和16年（1941）7月に編成され、1か月の訓練の後、8月15日に名古屋市内17か所（高射砲隊5か所16門・照空隊12か所）に布陣しました。

笠寺陣地は、昭和17年（1942）に構築され、4門の高射砲が置かれました。昭和18年（1943）には、コンクリート製の砲台が扇形に築かれ、6門になりました。戦後公園設置が決まると、弥生時代の遺物が出土する見晴台遺跡であったことから、昭和39年（1964）から発掘調査が実施されました。現在に至るまでに、弥生土器などのほか、高射砲陣地に関する兵舎跡、風呂場跡、高射砲の部品、工具類、墜落したB29爆撃機の尾翼の一部などが出土しています。出土品は、笠寺公園にある名古屋市見晴台考古資料館（見晴町47）で展示されています。



【笠寺陣地 砲台跡】



【あいちの戦争遺跡所在地（掲載分）】

こうしょう ◎豊川海軍工廠平和公園

豊川海軍工廠は、現在の豊川市穂ノ原に昭和14年（1939）に開庁した兵器工場です。当初は、機銃とその弾丸、火薬を製造していました。その後光学部、指揮兵器部、器材部が次々と設置されました。昭和20年（1945）8月7日のB29爆撃機124機による空襲では、死者2,500人以上、負傷者1万人以上という被害を受けました。

平成30年（2018）には平和公園（穂ノ原三丁目13-2）が開園し、建物2棟が市指定史跡として保存されています。



【豊川海軍工廠平和公園 旧第三信管置場】

◎半田赤レンガ建物

この建物は、半田市榎下町8にあります。カブトビールの醸造工場として明治31年（1898）に建設されました。

第二次世界大戦中は、中島飛行機半田製作所の衣糧倉庫として使用されていました。昭和20年（1945）7月15日、P51戦闘機による機銃掃射を受けました。建物北側の壁面にその時の弾痕が残されています。ビール工場の歴史を学び、お土産を買いながら平和の尊さについて考えることができます。

◎井戸早苗さん（86歳） 空襲の中ひとりりで逃げる怖さ

名古屋市昭和区円上に生まれた幼児期の思い出は「恐怖」の一言に尽きます。

空襲に遭い、私の家に祖母と叔母が逃げてきた時、私ぐらい（6歳）の見知らぬ子どもと一緒についてきたことがありました。空襲で逃げ惑う中、いつの間にかついてきた、と言うのです。その時、私はこの子のように、親からははぐれ、家も焼かれ、みなしごになるのではないかと、とても恐怖を覚えました。

空襲警報が出るたび、夜中に私もたった一人で逃げたのです。警報が出ると、大人はまず防火にあたるのが義務付けられていたため、私は一人で町内の防空壕へと逃げなければなりません。母は私のリュックにお米を入れ「何かあれば、これ（お米）を大人に渡して助けてもらうんだよ」と言いました。でもそんなものより、どれほど一緒に逃げて欲しかったか。戦争のない世界をどうしたらくれるか。平和について考える場をたくさんたくさん作って欲しいと思います。



◎中村桂子さん（語り継ぎ） 託された父の戦争体験

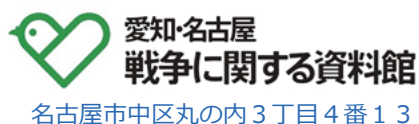
「僕の戦争体験を伝えてくれ」と言って2009年、父は85歳で亡くなりました。

父は、日本軍兵士として1944年8月19日に中国から沖縄に向かいました。「緑のきれいな竜宮城のような島沖縄が、アメリカ軍の猛攻撃に遭い、焦土と化していった」、「さっきまで一緒にいた兵士が無数の肉片となり、ソテツの葉に服の切れ端とともに引っかかっていた」と。父も瀕死の重傷を負いましたが、糸数アブチラガマで住民の人々に助けられ、一緒に生きてガマを出ることができました。戦後、父は亡くなった仲間たちの鎮魂といのちを助けてくださった沖縄の人々との交流を大切に、幾度も沖縄を訪ねていました。

「戦争は怖いよ。戦争は怖いよ」と語っていた父の体験と想いを知ってほしいと、語り継ぎを始めました。沖縄の人々との結びつき、交流もしっかり引き継ぎ、沖縄の今を肌で感じながら、父の体験を語り継いでいきたいと思っています。



資料館の取り組み ～次の世代へ平和な社会を～



愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、戦争の体験を次の世代に伝え、平和の大切さを学んでいただくため、県民の皆様から寄贈された戦争に関する実物資料等を展示しています。2015年（平成27年）に愛知県と名古屋市が共同で設置して今年で開館10周年を迎え、これまでに寄贈された資料は2万点を超えました。資料を寄贈いただく県民の方の中には、「資料の寄贈をきっかけに、親族が戦争に関わっていたことを初めて知った」という方も多く見られます。

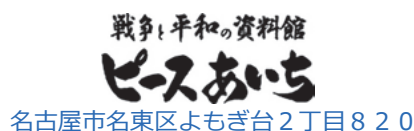
館内では寄贈された資料に加えて、名古屋市南区内で発見された250kg爆弾の実物や、名古屋空襲で使用された焼夷弾の模型、空襲の様子を再現した映像、戦争体験者の証言映像なども展示しています。その他にも、年3回（3月・7月・11月）企画展示を入れ替えるほか、常設展示の更新、自治体への資料貸し出し、図書館や大学などでの出張展示も行っています。



なお、寄贈された資料の中には、戦時中に愛知県外で暮らしていた方の資料もあります。そういった資料は、同時期の愛知県内に関する資料との照合や、関連

する戦争・出来事の調査を通じて、愛知県と他の都道府県との関わりを紹介するために生かしています。

戦後80年となるこの機会に、ぜひご来館ください。



1945年にアジア・太平洋戦争が終わって、80年の年月が流れました。日本が起こしたこの戦争で、アジアで2000万人、日本で310万人の命が奪われました。この戦争の記憶がだんだん遠ざかり、戦時中の資料が散逸していく中で、ピースあいちが戦争の実相と教訓を次の世代に伝えていくという理念で2007年5月、開館しました。それが戦争で亡くなった人々への鎮魂であり、再び戦争の惨禍を引き起こさないように、次の世代の平和の基礎を築くことでもあったからです。

運営から企画・展示、イベントの開催など、すべて約100名のボランティアで行っています。

「愛知県下の空襲」、「戦争の全体像・15年戦争」、「戦時下のくらし」、「現在の戦争と平和」をテーマに常設展示を行っています。語り事業では、語り継ぎ手の育成に努め、語り手・語り継ぎ手が戦争体験をお話しています。



体験者の語りを編集したDVDも館内で視聴していただけます。また、高校生や若い世代のボランティアで構成する“次世代交流チーム”は、若い世代に来館していただける「ピースあいち学生の日」などに取り組んでいます。

多くの人々の願いとは裏腹に、いまだ世界のあちこちで戦火は絶えることなく、様々な分断も進んでいます。世界各地の終わらない戦争がいやになるほど目に飛び込んできます。一方で、80年前に名古屋に空襲があったことを知らない人もたくさんいます。多くの命が奪われ、街が破壊され焼き尽くされるといったことが、かつて名古屋でも起きていました。遠い国の話ではなく、自分事として考えるために、ぜひピースあいちへ。

豊川市 桜町連区防災推進協議会

2019年の結成から、わずか6年で令和6年度の愛知県防災貢献団体表彰を受賞した豊川市の「桜町連区防災推進協議会」。住民だけでなく、学校や保育園、事務所、商業施設にも参画してもらい、地域一丸となって防災対策に取り組んでいる桜町連区の鈴木智彦連区長や防災推進協議会の古市修康会長らに、その思いをお聞きました。

◆ 消防団結成から始まった防災活動 ◆

未曾有の大災害となった1995年1月17日の「阪神淡路大震災」。鈴木連区長は「現場を見たい」と発生1週間後に兵庫県へ。あまりの惨状に声を失ったといいます。そんな中、ある避難所の体育館で見た光景を今でも鮮明に覚えていました。消防団員が地域住民の安否確認に奔走している姿を。「これや」と、その重要性に改めて気づき、97年に消防団を創設。防災活動への第一歩を記しました。

2019年、南海トラフ地震の臨時情報提供開始と被害想定が国から発表され、迫りくる天災に対し最大震度7が想定される桜町連区でも、防災への備えが叫ばれました。リスク軽減を目的に防災士、防災リーダーを基本とする防災組織を編成し、同年に防災推進協議会を設立。常に進化しながら災害に備える組織固めを着々と実現してきました。

「防災は人作り。意識の高い人材をいかに発掘し、育てていくことが大切」と古市会長。地域の防災訓練や防災研修会において、多くの参加者が楽しみ、継続的に防災に取り組める工夫を毎年行っています。そこが県表彰の受賞の要因につながったそうです。

また、2023年4月、近くにオープンした商業施設「イオンモール豊川」とは多岐に渡って協力、良い関係を築いています。日頃から防災イベントの開催や地元会合への出席。地震時には避難場所として屋上を開放、避難物資の提供もして頂くことになっています。

◆ 粘り強く何度でも…若者の参画促す ◆

「安全なまちづくり」をメインテーマに掲げる桜町連区では、全世帯を対象とした防災に関するアンケート調査を2024年6月に実施。地域住民の防災に対する知識が十分ではないことが判明、啓発の必要性を痛感したそうです。同時に、若者を巻き込み、活動の幅を広げていけるかが課題に挙げられます。「防災訓練、防災イベントに参加してもらえるように何度でも誘って、粘り強く運動していくしかない」。連区・門谷知卓事務局長は先を見据えています。

11月30日には防災訓練を予定。県の地震体験車「なまず号」や市の給水車も登場し、活動を盛り上げていきます。さらなる高みを目指して、桜町連区防災推進協議会の挑戦は続きます。（M.O）



【消防訓練の様子】

◆ 連区 町内会の連合組織で、豊川市には31ある。桜町連区は1958年4月1日設立。蔵子、農ヶ上、桜町、小田淵の4つの町内会の計1,650世帯で構成し、人口は約5,000人。

2023年6月2日、愛知県東三河地方を豪雨が襲いました。豊川市では年間降水量の1/4となる424.5ミリを観測。佐奈川など4つの川が氾濫、国道1号も通行止めに。桜町連区では約200棟の床上浸水、自動車の水没も約300台に上り、大きな被害を受けました。

桜町連区では、鈴木連区長をはじめ役員らが災害LINEグループで情報を共有しながら素早い対応。水害の際の避難所は桜町地区市民館ですが、東名高速や国道1号線を利用した関東や関西からの観光客が帰宅困難者として95人出るなど刻々と入る被害状況の大きさに、「地震時の避難所である桜町小学校体育館を開けてもらおう」（鈴木連区長）と市教育委員会に要請。当初は承認できないと言っていた市教委も、連区役員の必死の訴えに最後は応えてくれました。

後世に残す豪雨災害の記憶と記録

消防団や消防団OBらは水位が130センチになる中、自力で動けない高齢者を抱えて避難所に運んだり、翌日の朝4時まで道路の交通整理を行ったそうです。想像を超える豪雨災害にもかかわらず、多くの人たちの協力により人的被害はゼロ。日頃から構築したネットワーク、訓練の賜物でした。

この経験を風化させないために、「令和5年6月豪雨災害記録誌」（写真右＝二次元コードに内容掲載）を同年12月に発行。「町内会組織レベルでの冊子制作は全国初ではないか」と鈴木連区長は胸を張ります。この記録誌を町内会加入者の全世帯に配布し、今後への教訓に役立てるとともに、豊川市でも小学校副読本の参考にと広がりを見せています。



【問合せ先】 豊川市桜町連区 鈴木 智彦 連区長
E-mail : suzukawa.tomohiko
@gray.plala.or.jp

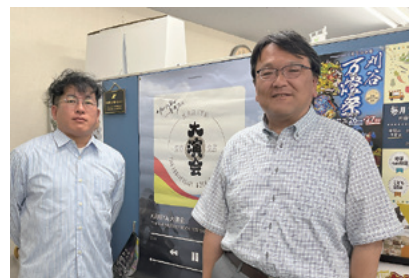


県内各地で様々な団体のみなさんが、その活動を通じて地域づくりに貢献しています。また、活動によって生まれる出会いや交流は、ご自身の生きがいにもつながっています。このコーナーでは、地域づくり活動を行っている団体のみなさんの特色ある取組をご紹介します。

特定非営利活動法人まちづくりかりや

～はたらく人々とともに歩むまちづくり～

「特定非営利活動法人まちづくりかりや」は刈谷市及び周辺市町において賑わいの創出、地域コミュニティの醸成、地域文化づくりに関する事業を行うことにより、地域の活性化に寄与することを目的として誕生しました。多岐にわたる取り組みに対し、「令和6年度愛知県地域づくり活動表彰」を受賞されました。刈谷駅前の事務所を訪問し、事務局長の森達也さん、次長の神谷創さんから、これまでの歩みや今後の取り組みについてお話をお伺いしました。



【神谷次長(左)、森事務局長】

◆ 昼も夜も人でにぎわう街、刈谷にする！ ◆

まちづくりかりやは、昭和54年に設立された刈谷駅前商店街振興組合の活動から始まりました。刈谷駅周辺には、企業が多く立地しており、それに伴い多くの飲食店が軒を連ね活気がありました。しかし駅北部は居酒屋やBARなどの夜を主な営業時間とするお店が多く、また地価の上昇も相まって、昼間営業する店舗が少ない地域となっていました。組合員だけでは企画、運営、活動に限界が生じてきたのです。そこで、刈谷市の玄関口として昼間も人が賑わう、活気に満ちたまちづくりを目指そうと、平成25年5月に特定非営利活動法人として設立、企画・運営を手掛けていくことになります。

◆ 交流の拠点を作り、よりよいまちを目指す ◆

やがて活動範囲は広がり、駅前商店街ばかりでなく、公園や公共空間を使ったイベントなども主催するようになりました。組合時代から続く、年2回、6月と10月に開催されている「カリアンナイト」は夜限定の飲み歩きイベントとして大人気となっています。



【大人気のカリアンナイト】

また、刈谷駅前での起業を目指す人々の支援も始めました。刈谷駅周辺の公園施設を活用し、魅力あるまちづくりに活用していくため花壇を整備する「花いっぱい運動」や、刈谷での起業を目指す人々の支援として、刈谷市が主催する「チャレンジショップ」(新規開業を目指す人が一定期間低コストで店舗を借り、事業を試せる場所)の運営を行っています。



【花いっぱい運動】



【チャレンジショップ
検討ワークショップ】

そして現在は新たな取り組みとして、「刈谷駅周辺官民連携まちなか再生推進支援業務」という刈谷駅を中心とする一帯に「エリアプラットフォームを構築する事業」をスタート。これは市内外の組織や企業などと連携をしながら、公共空間の活用促進や、刈谷駅周辺での出店やイベント開催をしやすくなるよう、「協議、調整を行う場」を構築するものです。プロポーザルでの提案が刈谷市に選定され、現在はその準備に日々追われているそうです。

エリアプラットフォーム とは

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社、団体、まちづくりや地域課題解決に関心のある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まってまちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取り組み(=まちづくり)について協議、調整を行うための場のこと。「国土交通省官民連携まちづくりパンフレット」より



◆ 新しい人と会う、話す、繋がっていく ◆

このようにまちづくりかりやは地域の活性化という目標に向かって着実に実績を積んでいます。駅前商店街の活性から起業希望者への支援、そしてエリアプラットフォーム構築と事業のスケールはどんどん広がっています。しかし、「一つ一つの事業を計画的に繋げて大きくしていったのではない」と森さんは語ります。「何かを始めて進めていくと、自然に刈谷という地域内での別のことが新しい人との繋がりによって、一本の線ではなく、まるで円のような輪の形で繋がっていく。そんな過程が楽しく、この仕事一番のやり甲斐です」と笑顔でお話しされていたのが、とても印象的でした。(T.F)



【問合せ先】 特定非営利活動法人まちづくりかりや
TEL : 0566-45-6440 E-mail: info@machikari.com





あいち歴建さんぽ



地域に遺る学校建築などの歴史的建造物を紹介します。

旧足助町立御内小学校校舎、同大多賀小学校校舎(日東醸造足助仕込蔵)

旧足助町立御内小学校は、猿投グリーンロードカ石ICの東方約16km、豊田市御内町中部の滝沢に位置します。明治30年(1897)創立の金沢村立鼎(かなえ)小学校を前身とし、90年の歴史を刻んで昭和62年(1987)3月に閉校した小学校です。昭和6年(1931)9月に、児童数増加にともない校地の北西辺に校舎を竣工し、桁行25間、梁間4間の規模、教室3室と教員室と1間半の玄関と廊下を付けています。木造平屋建て、寄棟造り棧瓦葺きの建物で、外観は下見板張り、引き違い窓を付けています。昭和16年(1941)、賀茂村第五国民学校と改称し高等科併設になりました。これにともない、昭和18年(1943)に校舎を増築し、桁行27間、梁間4間の規模になりました。校名は、戦後に賀茂村立第五小学校、次いで御内小学校となり、昭和30年(1955)に足助町立御内小学校となりました。閉校後、令和5年3月まで足助アートエリア鼎というクラフトセンターとして活用されましたが、現在は地域づくりの拠点「そらのうた MIUCHI」として新たな取り組みが始まっています。



御内小学校(南東から)



元教室(左)と廊下(右)

足助中馬館 (旧稲橋銀行足助支店社屋)

旧稲橋銀行足助支店は、猿投グリーンロードカ石ICの東方約9km、豊田市足助重要伝統的建造物群保存地区中央の田町に位置し、旧伊那街道(中馬街道)に北面しています。建物は明治36年(1903)に開設された稲橋銀行足助支店の新社屋として、大正元年(1912)に竣工した銀行建築です。その後銀行の合併を経て、昭和52年(1977)まで足助町農業協同組合金融部として使われました。昭和57年(1982)に地域の資料保存と展示を行う「足助中馬館」として開館しました。旧稲橋銀行足助支店社屋は、木造2階建て、切妻造り棧瓦葺き、延床面積144㎡の建物で、外壁に漆喰を塗って耐火性を高めています。1階は、客溜りを土間とし、カウンター



外観(北東から)



客溜り・カウンター



吹き抜け(2階和室から)

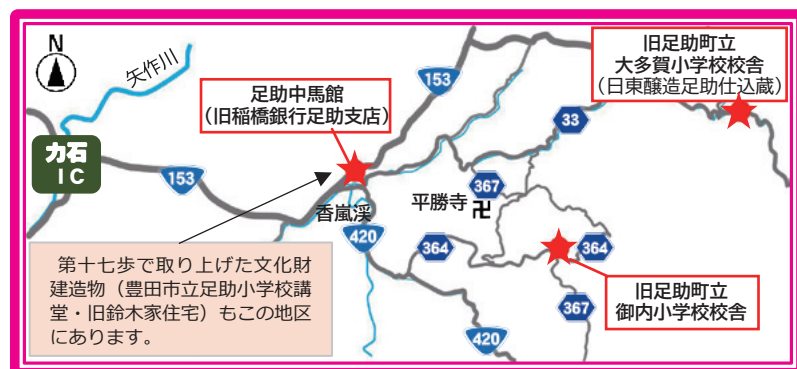
旧足助町立大多賀小学校は、猿投グリーンロードカ石ICの東方約22km、豊田市大多賀町中部の三浦に位置します。明治11年(1878)創立の北設楽郡小田木学校大多賀分教場を前身とし、昭和30年(1955)に足助町立大多賀小学校となりました。その際、昭和31年(1956)11月に竣工の校舎が今も遺ります。校地の北辺に位置し、木造2階建、切妻造り棧瓦葺きの建物で、外観は、縦羽目、引き違い窓を付けています。昭和62年(1987)に大多賀小学校は閉校しましたが、平成11年(1999)からは日東醸造足助仕込蔵として活用されています。



大多賀小学校(南から)



元廊下(左)と仕込蔵(右)



から内側は板張りの床となっています。2階は、裏庭に面した12畳の和室と、客溜りとカウンターの上部が吹き抜けとなっています。また、吹き抜け周りには幅450mmの回廊が付いています。このような銀行建築の特徴としては、銀行の業務が江戸時代の両替商に似ていたことから、両替商の建物で見られる木造塗籠の形態になっていること、建物外部に木部を露出させずに耐火性能を向上させ、銀行としての社会的信用を保っていたこと、また、西洋建築の様式・意匠をもつ銀行建築の建設に対応できる技術者や職人が地方都市には不足していたことがあげられます。

旧稲橋銀行足助支店社屋は、伝統的な建築様式・技術を用いて建てられた銀行建築の一つとして高く評価されており、愛知県指定文化財に指定されています。

〈参考文献〉

『愛知県史 建造物・史跡』平成18年、愛知県
『愛知県の近代和風建築』平成19年、愛知県教育委員会
『閉校記念 大多賀小学校誌』昭和62年、閉校実行委員会他
『御内小学校閉校記念 続御内蔵連誌』昭和62年、統合実行委員会他



愛知県高等学校郷土史研究会

※問合せは愛知県生涯学習推進センターへ

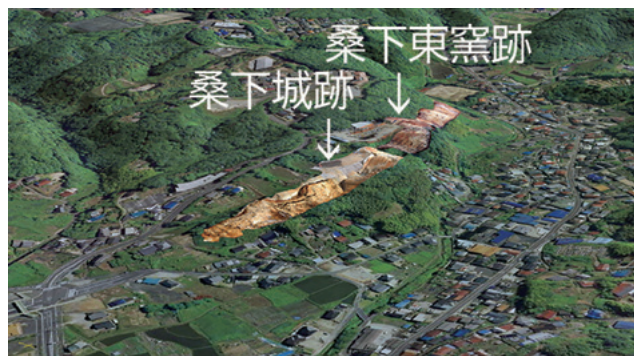
TEL: 052-433-5101



瀬戸市 桑下城跡と桑下東窯跡

1. 尾張国境の城

瀬戸市域東部の丘陵地帯は美濃と三河の国境と接する尾張の北東の端にあたり、戦国期には織田氏と松平（今川）氏勢力が争う緊張関係にありました。中馬街道の通る品野盆地付近には桑下城（くわしたじょう）と山頂付近の品野城（しなのじょう）があり、その立地から館（やかた）と戦略上の詰めの城というセット関係が指摘されています。これらの城主については、永禄元年（1558）、織田方を退けたとして今川義元より感状をたまわった松平勘四郎（信一）らの名が徳川氏側の史料にあり、尾張側の地誌類では15世紀末頃より品野の在地領主として長江（永井）氏の名がみられます。



〔丘陵上の桑下城跡と桑下東窯跡（CG合成）〕

2. 戦国期の城と暮らし



〔主郭の西側の堀（葉研堀）〕

国道363号道路改良工事に先立つ発掘調査は、東西約220m、南北約100mと推定される桑下城跡のうち西から北側にかけての範囲が対象となりました。東西幅約32m、南北20m以上となる主郭の北側を最大幅16m、深さ7mの規模をもつ北堀が囲み、幅10m、深さ6mで断面がV字状のいわゆる葉研堀（やげんぼり）や、尾根から続く縦堀（たてぼり）のほか、主郭西側の尾根上では櫓跡（やぐらあと）と土塁、それに複数の小型の建物跡（番小屋か？）など各所で厳重な防御施設が確認されました。

一方、主郭西側の丘陵斜面には平坦に造成した複数の曲輪があり、ある曲輪の出土品には簪（かんざし）や甲冑の部品である鉄形台（くわがただい）などの銅製品やガラス製数珠のほか、猪・水鳥・兎・鶏などの形の陶器水滴（すいてき）・茶入・石製茶臼といった日用品以外のものが目立ち、蔵のような収蔵施設の存在が想定されます。池や配石の痕跡など庭園跡が推定される曲輪もあり、城主の過ごし方も様々に想像されます。



〔主郭の一部と北堀（北から）〕

3. やきもの生産地の城跡

さて、瀬戸・美濃地域では城館跡に近接して分布する戦国期の「大窯」が以前から注目されてきました。16世紀前半に操業した桑下東窯跡は、桑下城主郭よりも標高の高い隣の尾根上に位置します。重要な防御機能の一部を損なうようなこの位置関係は、城主の許可があつてこそ成立します。一度に大量に焼き上げる新しい技術を持った大窯により戦国期の茶の湯の儀礼に必要な天目茶碗、皿類の量産が可能となり、こうした当時の情勢が産業としてのやきもの生産と瀬戸・美濃地域の在地領主層を結びつけていたと思われます。

かつて、やきものを含む多くの荷駄が行き来した中馬街道と桑下城を一望した品野城。現在、その眼下には東海環状自動車道が通っています。

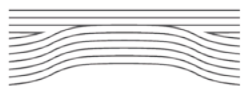


〔鉄形台
（兜のつの部分を固定する部品）〕



〔猪形の水滴（硯に水を注ぐ道具）〕





東海市創造の杜交流館

TOKAI CITY FOREST OF CREATION EXCHANGE CENTER

発信する。学び、創造する。交流する。

◆設計は、世界的建築家 隈研吾氏

今年5月にオープンした東海市創造の杜交流館は、横須賀文化の発信拠点、映像（映画）を中心とした創造活動の場・多世代交流の場をコンセプトにした施設です。設計は、国立競技場の設計にも携わった世界的建築家、隈研吾氏です。印象的な曲線屋根は、尾張横須賀まつりの象徴である山車から着想を得ており、ホールの照明は、祭りの提灯をモチーフにしています。さらに、街並みとの調和を大切にデザインされた建物の外装には、温かみのある木材を多く使用し、街並みに溶け込むやさしい雰囲気を持たせています。北館と南館の中央には、メインストリートと大階段があり、区画を分けて貸し出しもでき、キッチンカーの出店やマルシェなどイベント開催が可能です。

展示、講演会からイベントまで幅広く利用できる多目的ギャラリーは、充実した機材を備えています。また、併設の収録撮影スタジオは、映像の撮影だけでなく配信も可能です。映像編集室では、55インチ大型モニターと防音の室内にて、映像と音声を確認しながら編集できます。

毎月、シニア向けのスマホ動画撮影講座から、映像のプロから学ぶ本格的な講座を開催しています。中でも身近なスマホを使った動画撮影講座では、撮影テクニックをプロから学び、実際に撮影も行います。無料の動画編集アプリを使って編集をして、参加者で作品発表し、動画制作の楽しさを広がっています。公式サイトでは、開催の様子をまとめた記事をご覧ください。



【多目的ギャラリー・収録撮影スタジオ・映像編集室】



【各種 講座開催の様子】



◆横須賀文化発信コーナー

東海市創造の杜交流館のある東海市横須賀町の歴史と、5輛の山車を曳き廻す「尾張横須賀まつり」の賑わいを、連動する模型とプロジェクションマッピングで再現し、まつりの魅力と世界を体感し学ぶことができます。また、歌あそびテーブルでは、横須賀町生誕の歌人「阪 正臣」の生涯と作品に触れ、自分の心情を短歌に詠む「横須賀で一首」で時空を超えた町歩き体験ができます。投稿作品は、「まちゆくウォール」にまちゆく人の台詞のように吹き出しで映し出されます。タッチモニターでは、過去から現在までのまちの歴史絵巻を、イラストで辿り紹介します。



【横須賀文化発信コーナー】

【映像ホール1】

◆映像ホールでは映画を上映

104席を有する映像ホール1では、映画を上映しています。足元が広くゆったりとしたシートで、臨場感あふれる映画鑑賞ができます。

東海市創造の杜交流館

〒477-0036 東海市横須賀町狐塚11番地
(無料駐車場100台あり)

TEL : 0562-32-5700 FAX : 0562-32-5718
H P : <https://tokai-souzou.jp/>

[営業時間] 10 : 00~22 : 00

[定休日] 毎月第2月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始 (12月29日~1月3日)

カフェレストラン (11:00~21:00 L.O 20:30/月曜日定休)

東海市創造の杜交流館





※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、Tel等

開催中!

企画展「知多市 55 年の歩み」

①開催中～10/5(日)

②知多市歴史民俗博物館

③知多市歴史民俗博物館
Tel 0562-33-1571

申込不要



第 33 回特別展 発光生物 裏庭から深海まで一光を操る生き物たち

①開催中～10/18(土)
10:00～16:00 (最終入館 15:30)
※日曜、月曜休館日

②名古屋大学博物館

③名古屋大学博物館
Tel 052-789-5767

申込不要



所蔵品展 一春から秋へー

①開催中～10/19(日)
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館

②ヤマザキマザック美術館

③ヤマザキマザック美術館
Tel 052-937-3737

申込不要



特別展「刻された古代日本の書」

①開催中～10/19(日)
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館

②春日井市道風記念館

③春日井市道風記念館
Tel 0568-82-6110

申込不要



スポット展示 化石の保存

①開催中～10/31(火)
10:00～16:00 (最終入館 15:30)
※日曜、月曜休館日

②名古屋大学博物館

③名古屋大学博物館
Tel 052-789-5767

申込不要



かたわらには、いつもネコ展 猫でたどる日本のイラストレーション

①開催中～11/9(日)
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館

②刈谷市美術館

③刈谷市美術館
Tel 0566-23-1636

申込不要



令和 7 年度(第 41 回) 愛知県民の森「写生大会」 参加者募集!

①開催中～11/30(日)
※月曜休業日、ただし月曜祝日の場合は
営業、翌日を休業

②愛知県民の森

③愛知県民の森
Tel 0536-32-1262

要申込



越原記念館 企画展「時代の革新者越原春子と 越原学園百十年の軌跡～名古屋葵大学の系譜」

①開催中～2/13(金)
※土日祝、学園休業日は除く

②越原記念館(名古屋葵大学)

③越原記念館(名古屋葵大学)
Tel 052-852-1111

申込不要



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ(HPなど)にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、Tel等

2025 年度三河高校技術専門学校 普通課程一日体験

- ①開催中～11/30(日)、12/22(月)、
2/22(日)
14:00～(2 時間程度)
- ②愛知県立三河高等技術専門学校
- ③愛知県立三河高等技術専門学校
Tel 0564-51-0775

要申込



瀬戸市立図書館主催上映会

- ①開催中～3/31(火)(第3 週：水曜)
- ②パーティセとマルチメディアルーム
- ③瀬戸市立図書館
Tel 0561-82-2202

要申込



2025 年度三河高校技術専門学校 普通課程オープンスクール

- ①開催中～5/10(日)
- ※詳細は HP にて
- ②愛知県立三河高等技術専門学校
- ③愛知県立三河高等技術専門学校
Tel 0564-51-0775

要申込



『土地月間』 無料相談会

- ①10/1(水)～29(水)
- ※詳細は HP にて
- ②名古屋市など 13カ所
- ③公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会
Tel 052-241-6636

要申込



愛知県公文書館第 51 回企画展「江戸時代の 本屋さんと読書―地域に広がる書物文化―」

- ①10/1(水)～11/28(金)
※土日祝は休館日(11/1、3、8、15、
22 は開館)
- ②愛知県公文書館
- ③愛知県公文書館
Tel 052-954-6025

申込不要



「SDGs子ども・ユースフェア」を開催します

- ①10/3(金)、4(土)
10:00～17:00
- ②愛知県国際展示場 展示ホール C
- ③SDGs AICHI EXPO 実行委員会
事務局
Tel 052-971-6233

要申込



1 回でまなべる「Canva」講座

- ①10/4(土)
9:00～12:00
- ②犬山市民交流センター フロイデ
- ③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
Tel 0568-62-1888

要申込



かんたん絵手紙で人とつながろう

- ①10/4(土)
- ※詳細は HP にて
- ②STATION Ai
- ③日本福祉大学リカレント教育事業部
企画事業室
Tel 052-242-3069

要申込



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ(HPなど)にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、Tel等

認知症の人の意思決定支援とは？

①10/4(土)

※詳細はHPにて
②STATION Ai

③日本福祉大学リカレント教育事業部
企画事業室
Tel 052-242-3069

要申込



企画展 渥美半島貝塚展 講演会 1

①10/4(土)

②華山会館

③田原市博物館
Tel 0531-22-1720

申込不要



旧林家住宅美術展 「時とアートの交差展—結び—」

①10/4(土)～26(日)

※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館
②一宮市尾西歴史民俗資料館

③一宮市尾西歴史民俗資料館
Tel 0586-62-9711

申込不要



企画展 渥美半島の貝塚展

①10/4(土)～11/30(日)

※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館
②田原市博物館

③田原市博物館
Tel 0531-22-1720

申込不要



第5回ミニ探鳥会

①10/5(日)
10:30～11:30

②愛知県弥富野鳥園

③愛知県弥富野鳥園
Tel 0567-68-2338

申込不要



ボードゲームで遊ぼう！

①10/5(日)
14:00～15:30

②蒲郡市立図書館 2階会議室

③蒲郡市立図書館
Tel 0533-69-3706

申込不要



所蔵企画展 日本洋画コレクション 大地をめぐる6つの断章

①10/7(火)～12/21(日)

※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館
②メナード美術館

③メナード美術館
Tel 0568-75-5787

申込不要



《特別展》上村松園生誕150年記念 上村松園と鏑木清方 一届けたいのはヒューマンドラマー

①10/10(金)～12/7(日)
前期 10/10(金)～11/9(日)
後期 11/11(火)～12/7(日)

②名都美術館

③名都美術館
Tel 0561-62-8884

申込不要



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ（HPなど）にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

収蔵品展「令和の蒐集の軌跡」

- ①10/11(土)～11/9(日)
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館
②一宮市尾西歴史民俗資料館
③一宮市尾西歴史民俗資料館
TEL 0586-62-9711

申込不要



企画展「鈴木繁男 手と眼の創作」

- ①10/11(土)～1/12(月祝)
9:30～17:00
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館
②豊田市民芸館 第1・2 民芸館
③豊田市民芸館
TEL 0565-45-4039

申込不要



英文多読講座

- ①10/12(日)
14:00～15:30
②蒲郡市立図書館 2階会議室
③蒲郡市立図書館
TEL 0533-69-3706

要申込



今更聞けない HTML&CSS 入門講座

- ①10/17(金)～12/19(金)(毎週:金曜)
19:30～21:00
②犬山市民交流センター フロイデ
③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
TEL 0568-62-1888

要申込



宝くじ文化公演 元気が出る!オーケストラコンサート

- ①10/18(土)
②知多市勤労文化会館
③知多市勤労文化会館
TEL 0562-33-3600

要申込



アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座(オンライン)

- ①10/18(土)、19(日)
②オンライン会場
③一般社団法人 日本アタッチメント
育児協会
TEL 052-265-6526

要申込



特別企画展「収蔵記念 森岡完介展」

- ①10/18(土)～12/7(日)
※月曜休館日、ただし月曜祝日の場合は
開館、翌日を休館
②知多市歴史民俗博物館
③知多市歴史民俗博物館
TEL 0562-33-1571

申込不要



MOS 資格取得講座

- ①10/18(土)～12/20(土)(毎週:土曜)
9:00～12:00
②犬山市勤労青少年ホーム
③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
TEL 0568-62-1888

要申込



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ(HPなど)にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、Tel等

秋・冬の特別展 「草木染め展 身近な草花・樹木を使って」

- ①10/18(土)～1/18(日)
※火曜日及び年末年始(12/29～1/3)
休館、11月無休
②鳳来寺山自然科学博物館
③鳳来寺山自然科学博物館
Tel 0536-35-1001

申込不要



第5回探鳥会

- ①10/19(日)
10:00～12:00
②愛知県弥富野鳥園
③愛知県弥富野鳥園
Tel 0567-68-2338

申込不要



第48回図書館文学講座 平賀源内が抱いた 壮大な夢～功ならず名ばかり遂げて年暮れぬ～

- ①10/19(日)
13:30～15:00
②蒲郡市民会館 2階 会議室3
③蒲郡市立図書館
Tel 0533-69-3706

要申込



アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座

- ①10/25(土)、26(日)
②アタッチメント・アカデミア名古屋校
③一般社団法人日本アタッチメント
育児協会
Tel 052-265-6526

要申込



AICHI STARTUP SCHOOL 高校生オータム

- ①10/25(土)、26(日)、
11/15(土)、16(日)
10:00～17:00
②名城大学社会連携ゾーン shake(10月)
STATION Ai(11月)
③愛知県経済産業局革新事業創造部
スタートアップ推進課
Tel 052-954-6331

要申込



第54回江南市美術展

- ①10/31(金)～11/3(月祝)
②江南市民文化会館
Home&nico ホール
③江南市教育委員会生涯学習課
Tel 0587-54-1111

申込不要



第79回全国レクリエーション大会 in あいち 兼 ニュースポーツフェスティバル 2025

- ①11/1(土)、2(日)
10:00～15:00
②愛・地球博記念公園
(モリコロパーク)
③愛知県教育・スポーツ振興財団
企画推進課
Tel 052-241-9101

申込不要



第6回ミニ探鳥会

- ①11/2(日)
10:30～11:30
②愛知県弥富野鳥園
③愛知県弥富野鳥園
Tel 0567-68-2338

申込不要



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ(HPなど)にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

本のリサイクル市

①11/3（月祝）
9:00～15:00

②パルティセと
4階マルチメディアルーム
③瀬戸市立図書館
TEL 0561-82-2202

申込不要



市民講座 「聞いて役立つ環境と不動産の話」

①11/5(水)、12(水)、19(水)、26(水)
10:30～12:00

②公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会
会議室
③公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会
TEL 052-241-6636

要申込



ala Collection シリーズ vol.16 『ハハキのアミュレット』

①11/8(土)
13:00 開演

②パティオ池鯉鮒（知立市文化会館）
花しょうぶホール
③知立市文化会館パティオ池鯉鮒
TEL 0566-83-8100

要申込



親子で学ぼう！美味しく食べて健康に

①11/9(日)
10:30～12:00

②東谷山フルーツパーク 本館大会議室
③東谷山フルーツパーク
TEL 052-736-3344

要申込



3 農業公園連携企画「なごやの農業公園 めぐり＜冬編＞」（3回継続）

①11/9(日)、23(日)、12/6(土)

②東谷山フルーツパーク（11/9）
農業文化園戸田川緑地（11/23）
名古屋市農業センター dela ファーム（12/6）
③東谷山フルーツパーク
TEL 052-736-3344

要申込



World Robot Summit 2025 Aichi・ あいちロボフェス 開催1か月前イベント

①11/15(土)
10:00～17:00

②イオンモール大高
③愛知県経済産業局産業部産業振興課
ロボット産業グループ
TEL 052-954-6352

申込不要



「著作権」ってなに？

①11/15(土)
13:30～15:00

②稲沢市立祖父江の森図書館
2階 視聴覚室
③名古屋文理大学地域連携センター
TEL 0587-23-2400

要申込



「食農体験教室」 できたて豆腐とおからのクッキング

①11/15(水)

②名古屋市農業センター
③名古屋市農業センター dela ふぁーむ
TEL 052-801-5221

要申込



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ（HPなど）にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

「食農体験教室」フライパンで30分！ 人参おから蒸しパン（大根のピリ辛添え）

①11/16(日)

②名古屋市農業センター

③名古屋市農業センター dela ぴあーむ
TEL 052-801-5221

要申込



おいしく食べてずっと健康 免疫力がアップする食事

①11/17(月)

②日本福祉大学名古屋キャンパス

③日本福祉大学リカレント教育事業部
企画事業室
TEL 052-242-3069

要申込



アタッチメント・ヨガ (for マタニティ&ベビー) インストラクター養成講座 (オンライン)

①11/22(土)、23(日)

②オンライン会場

③一般社団法人 日本アタッチメント
育児協会
TEL 052-265-6526

要申込



第51回知多市民美術展

①11/22(土)～24(月振)

②知多市勤労会館やまももホール他

③知多市民美術展実行委員会事務局
TEL 0562-31-0383

申込不要



企画展 渥美半島貝塚展 講演会2

①11/23(日)

②華山会館

③田原市博物館
TEL 0531-22-1720

申込不要



生誕1200年—在原業平を追う

①11/29(土)
14:00～16:00

②知立市中央公民館 大会議室

③知立市教育委員会生涯学習スポーツ課
TEL 0566-83-1165

要申込



愛知文教大学連携市民講座 ようこそ、和本の 世界へ～「べらぼう」にみる江戸の出版文化

①11/30(日)、12/4(日)(全2回)
13:30～15:30

②小牧市公民館

③一般財団法人こまき市民文化財団
TEL 0568-77-8269

要申込



親子で学ぶ小牧の郷土料理 ～いもぼたもちとおとしこし料理

①12/14(日)
9:30～12:30

②小牧市公民館

③一般財団法人こまき市民文化財団
TEL 0568-77-8269

要申込



※二次元コードは、問い合わせ先指定のページ（HPなど）にリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報について、問合せ先のTELまたは二次元コードより必ずご確認ください。



おすすめ情報

- ◎チャレンジ ザ サバイバル in さがらの森
- ◎冬のDAYキャンプ! in 春日井市少年自然の家
- ◎中・高校生ビブリオバトル愛知県大会2025

子ども対象

チャレンジ ザ サバイバル in さがらの森

開催日：11月15日(土)～16日(日) 1泊2日
対象：小学4年生から中学3年生
定員：30名
参加料：1人 6,500円
募集期間：10月3日(金)～26日(日)



家族対象

冬のDAYキャンプ! in 春日井市少年自然の家

開催日：12月7日(日)
対象：小学生以上の子どもとその家族
定員：40名程度
参加料：1人3,000円
募集期間：10月24日(金)～11月9日(日)



お問合せ



▲詳細はこちらから

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 企画推進課

TEL：052-241-9101 名古屋市中区新栄1-49-10 愛知県教育会館2階



令和7年度愛知県子供読書活動推進大会

中・高校生ビブリオバトル愛知県大会2025

会場：愛知県図書館 大会議室

観覧者
募集中!

決勝及び講演会：10月26日(日) 13:00～16:30
講演会講師：汐見夏衛氏(小説家)

読書界を牽引する若者たちの熱い思いに耳を傾けてみませんか？
どなたでも観覧の申込みができますので、ぜひご参加ください。
先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。



ビブリオバトルとは…?

各自が持ち寄った本の面白さについて5分程度で
紹介し合い、一番読みたくなった本を参加者の投票で
決定する書評会です。



お申込み お問合せ



▲詳細はこちらから

愛知県教育委員会あいちの学び推進課

TEL：052-954-6781 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号



編集後記



戦後80年の節目を迎え、これからも平和が続くことを願い、「戦争の記憶の継承」を特集しました。
三四半世紀以上に及ぶ平穏な日常は、様々な問題を平和的に解決してきた多くの人々の努力によって続
いてきました。その根底には不毛な争いを繰り返すまい、という戦争経験者たちの想いがあるのだと思
います。戦争について考え、平和な日々を送るために私たち一人ひとりに何ができるのか、戦争遺跡や資料
館を訪ねることから始めてみたいと思います。(Y.N)